

～同推だより～

出 会 い

【編集】
散岐地区同和教育推進協議会

【発行日】
令和7（2025）年9月25日
《第35号》

ける社会について考えて
いただける内容とな
っています。

散岐地区同和教育推
進協議会においても、
小地域懇談会を継続し
て実施することにより、



人権尊重の輪が広がり、生き生きと暮らすことが
できる地域づくりを目指しています。一人でも多
くの方が、自身の人権感覚を見つめ直す機会とし
て、お気軽にご参加いただければ幸いです。

小地域座談会へのご参加を



散岐地区同和教育推進協議会
会長 野際 章人

今年も各集落で小地域座談会を実施するにあたり、まず、11月4日（火）に散岐地区公民館で部落長さん、人権推進委員さん、対話者の方々と、今回使用する人権啓発映画を視聴したうえで、事前打合わせを行います。今回使用する映画は、北九州市で制作された『光射す空へ』です。

同和对策審議会答申が出されて60年、その間、国や地方自治体で様々な取り組みが行われ、同和地区の生活環境は大きく変わりました。しかし、同和地区・被差別部落と呼ばれる地区の出身者や住民に対する差別は、形を変えて根強く残っています。



また、十分に認識されていない人権課題として、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。

この映画では、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。登場人物たちとともに、誰もが人権を尊重されて自分らしく生きてい

令和7年度 散岐地区同和教育推進協議会役員・評議員名簿 ●

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会 長	野際 章人	評議員	田淵 隆一	評議員	下田 賢治	評議員	岡山 毅
副会長	中村 晃	//	山田 和志	//	山田 和弘	//	小谷 英則
//	前田 和美	//	倉持 久男	//	平尾 美好	監 事	山本 真裕美
推進員	坂根 和夫	//	福谷 宣温	//	田村 恭作	//	金谷 達美
//	前田 武志	//	門脇 智子	//	前田 宗弘	幹 事	坂本 真由美
//	小川 孝	//	山田 考宏	//	西尾 英隆		(23名)

地域共生社会について



散岐地区同和教育推進協議会
副会長 中村 晃

地域共生社会とは、高齢者、障がいのある人、子ども等、制度や分野ごとの『縦割り』や、「支える側（支え手）」「支えられる側（受け手）」という関係を超えて、「相互に支え合える」ことを目指して、地域住民や地域の多様な主体が、『我が事』としてあらゆる活動に参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つなが

り、それぞれが役割を持ち、支え合いながら、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域を共に創っていく社会のことをいいます（令和7年3月発行「鳥取市地域福祉推進計画」より）。

この定義から皆さんは、どんなイメージが湧きますか。私は、地域で共に生きていく社会とは、例えば、「音声付き信号機」の設置のように目の不自由な方にもいいことだけれども、不自由でない方にもいいことだというように、「あなたにとっても私にとってもいい」社会の実現という考えで、行動していきたいと思います。

少子高齢化や人口減少に伴って、人間関係が希薄になりつつある社会状況にあります。今後とも、ますますお互いに支え合えるよう積極的に社会参加していきたいものです。

男女共同参画研修を開催

8月30日（土）、本市の人権教育推進員の丸山久乃さんをお迎えして、「多様化するハラスメント」と題して、ご講演をいただきました。

家庭、学校、職場、地域でハラスメント（嫌がらせ）の加害者とならないよう

- ハラスメントに関する知識を身に付ける。
- 自らの行為がハラスメントになっていないか注意する。
- 「男らしく」「女らしく」ではなく、「個人」の能力が発揮されやすい雰囲気づくりに努める。
- ジェネレーションギャップ（世代間ギャップ）も多様性の一種として、互いに歩み寄る。

ことが大切であること等、さまざまな示唆に富んだお話でした。

地域共生社会とは



*（厚生労働省資料）「共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会最終取りまとめの概要」より

～編集後記～



今年の夏も連日の酷暑で、体も相当疲れました。「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざもありますが、このたよりが皆さんのお手元に届く頃には、涼しくなっていてほしいものです。

(T. O)